

議 事

精神病床の増床計画

(厚生労働大臣が定める特例病床) について

審議会に意見を求める増床計画・・・・・・・・・・・・・ 1

資料 1

特例病床制度の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

資料 2

精神病床の増床計画 (厚生労働大臣が

定める特例病床) の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～4

資料 3

さいたま赤十字病院の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～10

厚生労働大臣への協議をするに当たり、医療審議会に意見を求める増床計画

病院名	増床の承認を受けようとする病床数	病床の種別	医療圏
さいたま赤十字病院	6床	精神	さいたま保健医療圏

※特別病床の増床に係る厚生労働大臣への協議について

基準病床数を超える病床が存在する場合でも、特例的に整備できるものとして医療法施行規則第30条の32の2に規定される特別病床については、医療審議会へ諮問し、審議会の意見を付して厚生労働省へ協議を行う。(厚生労働省医政局長通知)

特別病床制度の概要

1 趣 旨

病院及び診療所の病床については、地域保健医療計画において、二次保健医療圏ごとにベッド数の上限である基準病床数が設定されている。既存の病床数がこの基準病床数を上回っている、いわゆる病床過剰医療圏においては、原則として病床の増床ができないが、病床過剰医療圏であっても特例的に整備できる病床（以下「特例病床」という。）が定められている。

2 特別病床の種類

特別病床として、医療法施行規則第30条の32の2に13類型が規定されている。

特別病床の内容	
1	がんその他の悪性新生物又は循環器疾患
2	小児疾患
3	周産期疾患
4	リハビリテーション（発達障害児の早期リハビリテーションその他の特殊なリハビリテーションに係るものに限る。）
5	救急医療
6	アルコールその他の薬物による中毒性精神疾患、老人性精神疾患、小児精神疾患、合併症を伴う精神疾患
7	神経難病
8	緩和ケア
9	共同利用
10	後天性免疫不全症候群
11	新興感染症、再興感染症
12	薬事法の治験の臨床試験
13	診療所の病床を転換して設置した療養病床

※特別病床の取扱いにあたっては、医療審議会へ諮問し、審議会の意見を付して厚生労働省への協議を行う。（厚生労働省医政局長通知）

3 これまでの特別病床の事例

病院名	病床数	類型	開設許可日
1 川口市立医療センター	539 (35)	救急医療	平成3年2月1日
2 深谷赤十字病院	506 (50)	救急医療	平成3年12月26日
3 県立循環器・呼吸器病センター	319 (40)	循環器疾患	平成5年11月2日
4 県総合リハビリテーションセンター	120 (120)	リハビリテーション	平成6年2月16日
5 医療法人愛和病院	50 (7)	周産期疾患	平成21年6月17日
6 県立がんセンター	503 (58)	がん、緩和ケア	平成23年6月17日
7 さいたま市立病院	567 (30)	精神	平成29年度予定

(注) 病床数の () 内は特別病床数で内数である。

精神病床の増床計画（厚生労働大臣が定める特別病床）の概要

1 埼玉県精神病床数の状況

平成 28 年 10 月 12 日現在

基準病床数	既存病床数	過 剰
13, 675床	14, 056床	381床

※ 既存病床数には、さいたま市立病院（平成32年1月建替開院予定）の病床30床を含む。

2 さいたま赤十字病院の増床計画の概要

(1) 病院の概要

所在地	さいたま市中央区新都心1-5（さいたま保健医療圏）
開設者	日本赤十字社埼玉県支部（支部長 上田 清司）
管理者	安藤 昭彦
開設年月日	昭和9年7月5日
診療科目	肝・胆・膵内科、消化管内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、膠原病・リウマチ科、腎臓内科、総合臨床内科、腫瘍内科、心療科、神経内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、緩和ケア内科、口腔外科、病理診断科、救急科
既存病床数	一般病床632床

(2) 増床計画の概要

増床計画数	精神病床 6床
増床方法	厚生労働大臣の特例病床承認など、所定の手続を経た後、現病棟内に設置
新病院の概要	敷地面積 : 14, 001. 33m ² 延べ床面積 : 67, 333. 69m ² 階数 : 病院本館 地下2階、地上14階 構造 : 病院本館 鉄骨造（免震構造）、一部鉄筋コンクリート造
増床の承認を受けようとする理由	高度救命救急センターに搬送された身体症状を有する精神疾患患者などの身体合併症患者に対応する病床がないため、病床を整備する。

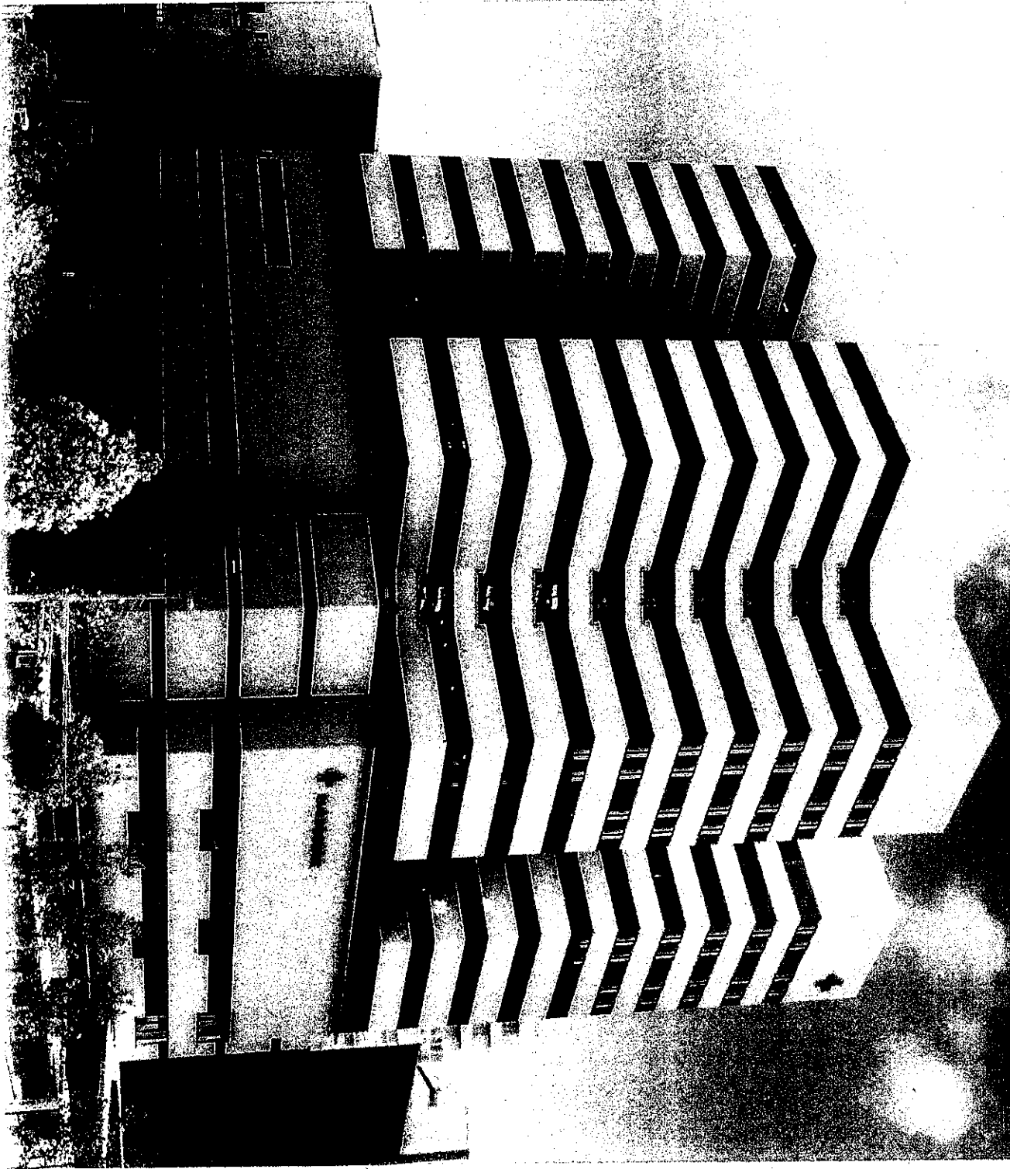
増床数の内訳	精神科身体合併症病床 6床
増床数の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3次救急で搬送された精神疾患を伴う入院患者を基に算出 3. 5床 ・ 2次救急で搬送された精神疾患を伴う入院患者を基に算出 7. 8床 3. 5床 + 7. 8床 = 11. 3床 > 6床
医療従事者の確保計画	病院独自の求人や大学病院医局及び人材紹介会社等を通じて、確保を図る。

3 身体合併症に対応可能な病床の状況について

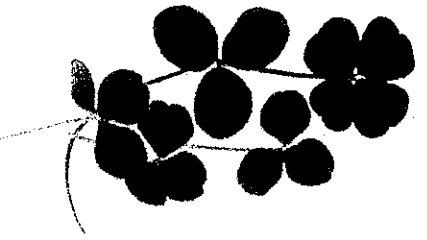
精神科救急医療圏名	精神病床と合わせて一般病床を有する病院	うち総合病院精神科に相当する病院
第1精神科救急医療圏 (南部、東部、さいたま、県央、利根)	5病院 (川口さくら病院、みさと協立病院、慶和病院、富田病院、埼玉精神神経センター) (H32.1) さいたま市立	なし
第2精神科救急医療圏 (南西部、川越比企、西部、北部、秩父)	8病院 (丸木記念福祉メディアイカルセンター、埼玉医科大学病院、光の家療育センター、小川赤十字病院、大生病院、防衛医科大学校病院、埼玉セントラル病院、飯能靖和病院)	3病院 (埼玉医科大学病院(78床)、小川赤十字病院(50床)、防衛医科大学校病院(36床))


※ 身体合併症等協力病院支援事業による受入体制
 身体合併症患者に医療を提供するため埼玉医科大学病院(毛呂山町)に委託し、空床(2床)を確保している。

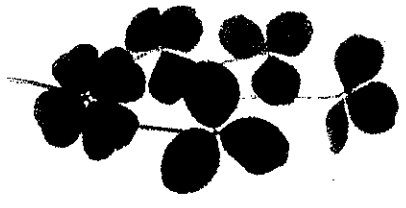
帯広さんにも地域の医療機関にも親しまれる病院に



新病院のご案内



 日本赤十字社さいたま赤十字病院
Japanese Red Cross Society



病院特色

所在地 于 330-8553 埼玉県さいたま市中央区新都心1-5

TEL: 048-852-1111 FAX:048-852-3120

URL: <http://www.saitama-med.jc.or.jp/>

開設年月日 昭和9年7月5日

幹部職員 院長 安藤昭彦

副院長 半田祐一、山本健嗣、清田和也

事務部長 内田紹夫

看護部長 渡辺まゆみ

敷地面積……………14,001.33㎡ 建築面積 …… 8,877.53㎡ 延床面積 …… 67,333.69㎡

診療科名一覧

肝・胆・膵内科	消化管内科	呼吸器内科	血液内科
膠原病・リウマチ内科	腎臓内科	糖尿病内分泌内科	総合臨床内科
腫瘍内科	神経内科	循環器内科	心療科
小児科	外科	乳癌外科	整形外科
脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	皮膚科
泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科
形成外科	リハビリテーション科	放射線診断科	放射線治療科
麻酔科	緩和ケア診療科	口腔外科	病理診断科
救急科			

全33科

病床数……………632床

主な機能と特色

【主な機能】

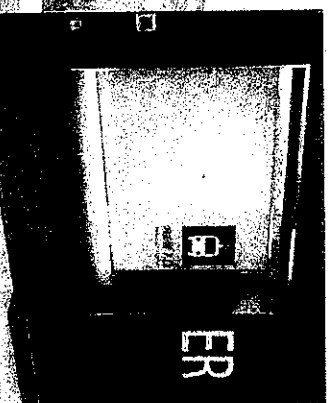
- ・総合周産期母子医療センター
- ・高度救命救急センター
- ・ドクターカーによる診療 (県内初 24時間 365日)
- ・地域医療支援病院
- ・地域がん診療連携拠点病院
- ・臨床研修指定病院 (厚生労働省)
- ・日本医療機能評価機構認定病院
- ・災害拠点病院
- ・埼玉 DMAT 指定病院
- ・総合支援センター
- ・内視鏡センター
- ・赤十字医療救護班 (4班常備)

【主な設備】

- ・ハイブリッド手術室
- ・PET/CT
- ・MRI
- ・CT
- ・マンモグラフィ
- ・サイバーナイフ
- ・屋上ヘリポート
- ・多目的ホール
- ・がんサロン「ほほえみ」
- ・救急車2台
- ・災害救護車両1台 (2tトラック)

平成27年度実績

平均在院日数 …………… 13.7日 1日平均外来患者数 …… 1,260.7人
 1日平均入院患者数 …… 557.9人 病床利用率 …………… 92.9%
 救急患者数 …………… 13,674人 救急搬送患者数 …………… 8,183人



ER入口



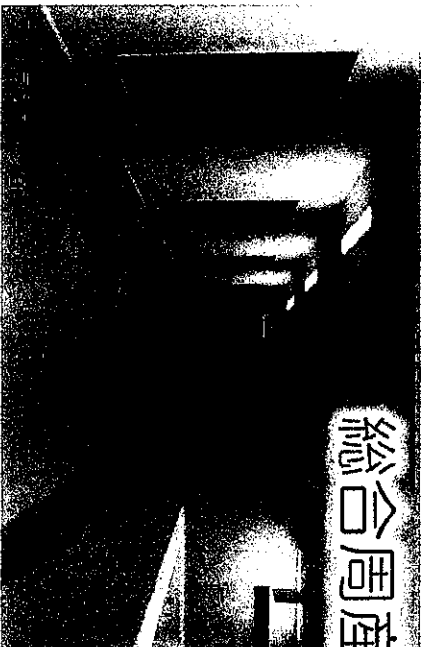
手術室



ドクターカー

総合周産期母子医療センター

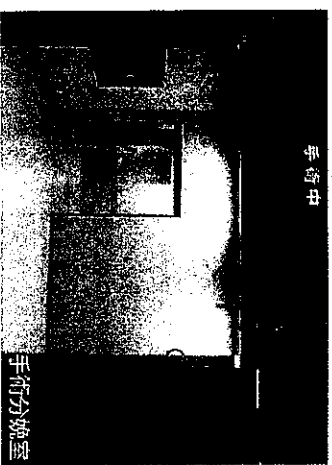
総合周産期母子医療センターとは、MFIUCU（母体・胎児集中治療室）を有する産科病棟とNICU（新生児集中治療管理室）を有する新生児病棟を備え、24時間体制で母体及び新生児搬送の受入を行い、合併症妊娠、妊娠高血圧症候群、切迫早産、胎児異常など、リスクの高い妊婦や新生児に高度な周産期医療を提供するための機能を備えた医療施設のことです。



当院では、5F東側フロアにMFIUCUとNICUを整備し、MFIUCUでは、ハイリスクの妊婦への専門的治療を行うための設備と医療スタッフを、また、NICUでは早産児や低出生体重児、病的新生児へ対応するための設備と医療スタッフを備えるほか、NICUで治療中の新生児が回復期又は慢性期の治療を受ける際の後方病床として、GCU（新生児治療回復室）を備えており、安心して産科治療と新生児治療をお受けいただけます。

また、埼玉県内では唯一の小児専門医療施設である、埼玉県立小児医療センターのNICUとGCUへ患者移送ができるため、母体と新生児への総合診療が可能になります。

当院からは、より重度なハイリスク新生児の受け入れを依頼し、小児医療センターからは分娩及び手術時の立ち合い協力をしていただくことで、両病院の専門医師、スタッフが緊密に連携し、高度かつ専門的な医療を提供できる新しい医療拠点となります。



高度救命救急センター

高度救命救急センターとは、複数の診療科領域にわたる重症患者を受け入れる救命救急センターの中でも、特に広範囲熱傷、指肢切断、急性薬物中毒症などといった「特殊疾患患者」に対して、高度な救命医療を行うための専門医師、看護師を配置し、24時間体制での診療が可能な医療機関として厚生労働省が認可した医療施設のことを意味します。



当院では、1Fに救急外来、4FにICU（集中治療室）・HCU（準集中治療室）・救急病棟、8FにはCCU（冠疾患集中治療室）、14FにSCU（脳卒中集中治療室）、屋上にはヘリポートを備え、周辺地域を含め埼玉県内における高度救急医療が必要とされる患者さんを受け入れます。

また、平成28年4月1日より、ボクサーカーの運用を開始したことで、救命処置の必要な救急患者が発生し、消防本部からの出動要請があった場合には、救命救急センターの医師、看護師が同乗のうえ、救急現場や走行中の救急車に合流し、医療行為を行っております。出動範囲は、メテオカイルコンローリ体制に基づいた運用となっており、傷病発生直後から病院到着前診療を開始することで、救急医療体制の更なる充実を図っております。

なお、当院は災害拠点病院として、赤十字医療救護班を4班常備しているほか、埼玉県特別機動援助隊（埼玉SMART）に所属しており、埼玉県災害派遣医療チーム（埼玉DMAT）として災害救護活動も行っております。



最新医療のご紹介

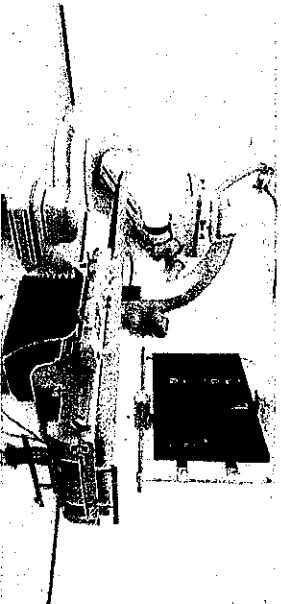
当院では、高度救命救急センターでの救急医療をはじめ、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院として、埼玉県内を中心とした多くの患者さんへ最新の医療を提供するため、新病院では多くの最新医療機器を新たに取り揃えますので、その一部につきましてご紹介いたします。

サイバーナイフ



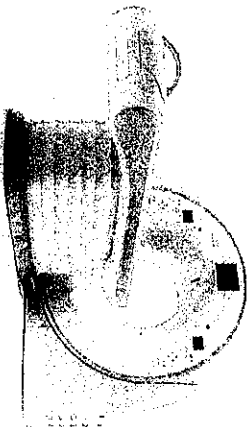
サイバーナイフは、ロボット型放射線治療機器で、多方向から腫瘍を狙うことで、病変部に集中した照射ができます。完治を目指して、強力な照射が可能です。また、腫瘍以外の臓器への副作用が少なく、1日～数日の短期間で治療できるため、痛みや腫れを改善する緩和的治療にも向いています。脳、頭頸部から肺、肝臓、前立腺など様々な部位の腫瘍が対象になります。

ハイブリッド手術



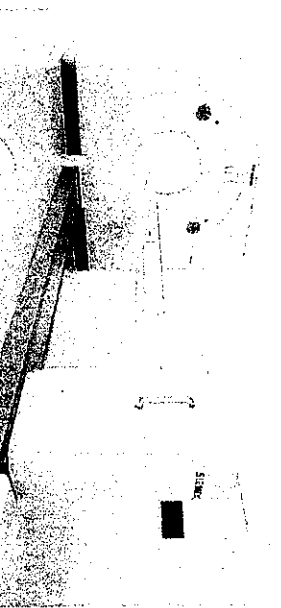
高度な血管造影装置を備えた手術室で、開胸術などの外科手術と、細い管を血管の中に通して治療を行うカテーテル手術を同時に行うことができます。それにより、従来の治療に比べて患者さんへの負担が少ない先進医療を安全に行うことができます。大動脈弁をカテーテルで治療する経カテーテル的大動脈弁移植術 (TAVI) や、大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術などを行います。

治療計画用 CT



CT装置とは、放射線を利用し身体の輪切り画像を作り出す装置です。当院では、放射線治療計画用CT装置として、16cmの範囲を1度に撮影可能な 320 列 CT 装置を新たに導入します。320 列 CT 装置を放射線治療分野に用いることにより、腫瘍の呼吸の動きをリアルタイムにとらえることや、血液の流れを把握することが可能になり、さらにサイバーナイフと組み合わせることで、より高精度な放射線治療が行えます。

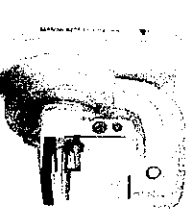
PET/CT



PET 検査とは、がんのエネルギー源であるブドウ糖に類似した弱い放射線を出す薬剤 (^{18}F -FDG (フルオロデオキシグルコース)) を注射し、がんのブドウ糖代謝を利用した画像診断法です。

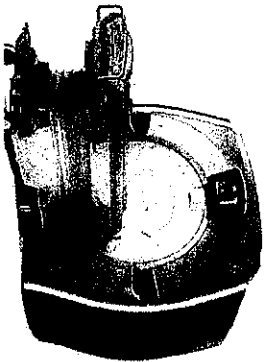
PET/CT 装置は、この PET 検査とがんの形状をとらえる CT 検査を利用し、画像を重ね合わせることで、さまざまながんの早期発見、病期診断、転移・再発診断に威力を発揮します。

マンモグラフィ



マンモグラフィ検査とは、乳がん診断を行なうための検査です。乳房を薄く広げるために圧迫をして撮影します。薄く広げることで乳腺の重なりが減り異常が指摘しやすくなります。また、今回当院では新たにトモシンセシス(3Dマンモグラフィ)撮影が可能な装置を導入します。トモシンセシスでは、乳房内の断面像が得られるため、さらに乳腺の重なりがない画像を得られ、より細かい異常を指摘することが可能となります。

MRI

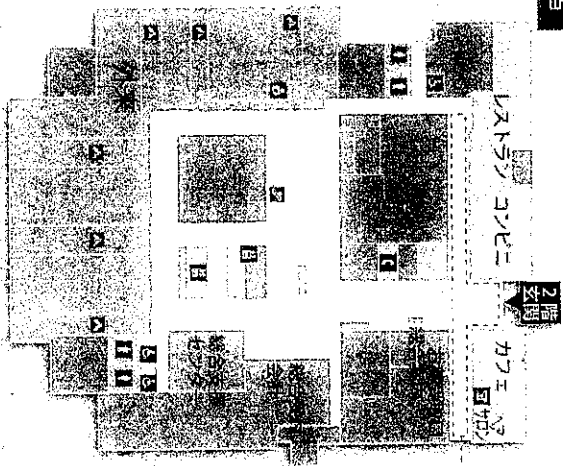


MRIとは、磁力と電波の力を利用して体内の臓器や血管を撮影する検査です。特に脳や、脊髄、四肢や、子宮、卵巣、前立腺などの骨盤腔に生じた病変に優れた描出能が知られています。また病気の早期発見や診断に MRI 検査は有用とされ、様々な研究や開発などが進んでいます。

当院では MRI 装置を 3 台に増やし、予約待ち期間の短縮を目指します。また高磁場の 3 テラテラ装置を導入し、既存の装置では不可能であった、高度な検査や詳細な画像が得られ、今までよりも質の高い医療を提供することが可能となります(注：検査部位や症例によっては 1.5 テラテラとなる場合があります)

施設案内

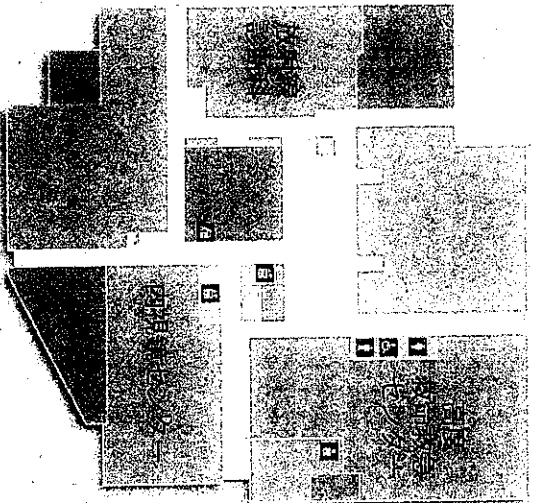
2階



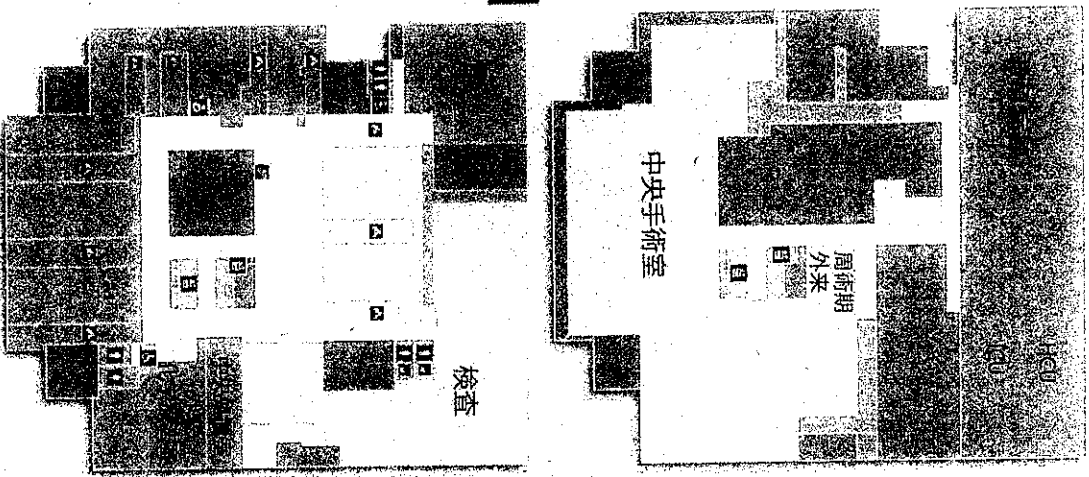
ホスビタルモール

- **レストラン** **ピアソモール**
店舗名
営業時間 (平日) AM8:00 ~ PM5:00
(土・日・祝日) AM11:00 ~ PM4:00
- **コンビニ** **セブンイレブン**
店舗名
営業時間 (平日・土・日・祝日)
AM7:00 ~ PM11:00
- **カフェ** **カフェコア**
店舗名
営業時間 (平日) AM8:00 ~ PM6:00
(土・日・祝日) AM9:00 ~ PM6:00
- **ヘアサロン** **こもれび**
店舗名
営業時間 (平日のみ) AM9:00 ~ PM6:00

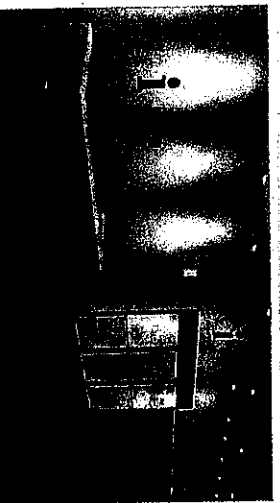
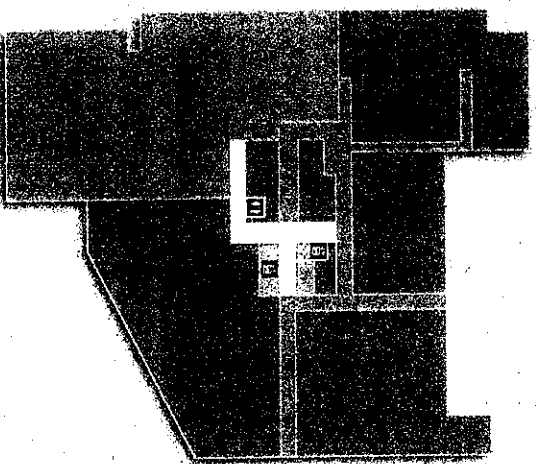
1階



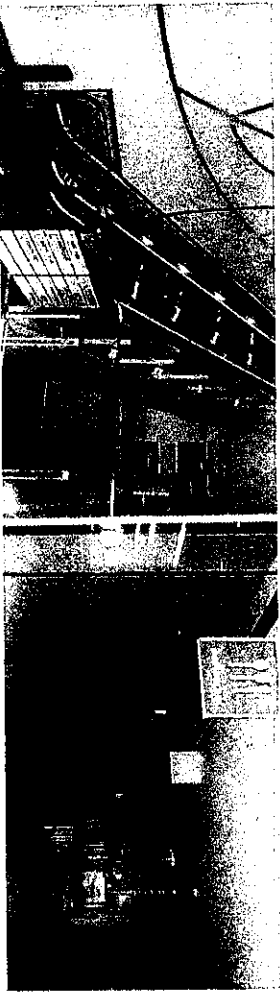
3階



地下1階



総合案内



2F エスカレーター前

さいたま赤十字病院

屋上

ヘルポート

階層図

9～14階

病棟

CCU 心カテ室

● 駐車台数

311台

● 構造

鉄骨造 (免震構造)
一部鉄筋コンクリート

エントランス

2階

外来

検査室

他

レストラン他

エントランス

駐車場

地下1階

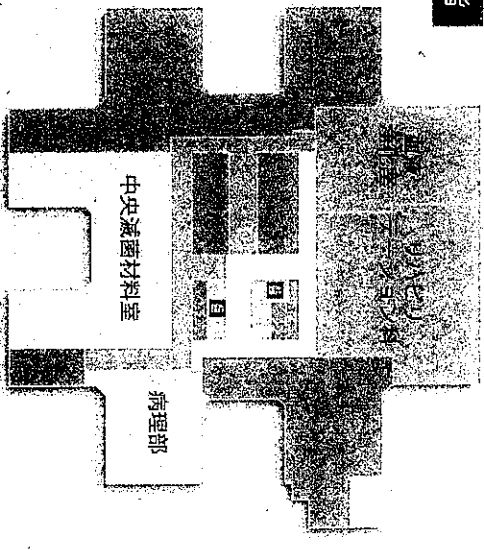
放射線診断科

放射線治療科

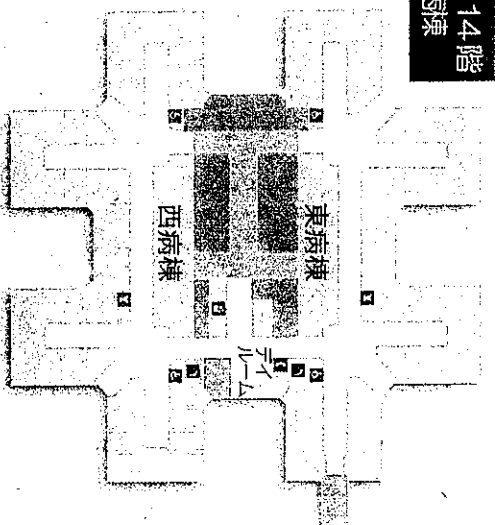
埼玉県立小児医療センター

1階	放射線診断科	内科診療センター	検査室	エントランス
2階	放射線治療科	放射線治療科	検査室	エントランス
3階	外来	検査センター	検査室	エントランス
4階	周術期外来	中央手術室	検査室	エントランス
5階	病棟	病棟	検査室	エントランス
6階	中央滅菌材料室	病理部	検査室	エントランス
7階	管理部門	管理部門	検査室	エントランス
8階	病棟	病棟	検査室	エントランス
9～14階	病棟	病棟	検査室	エントランス

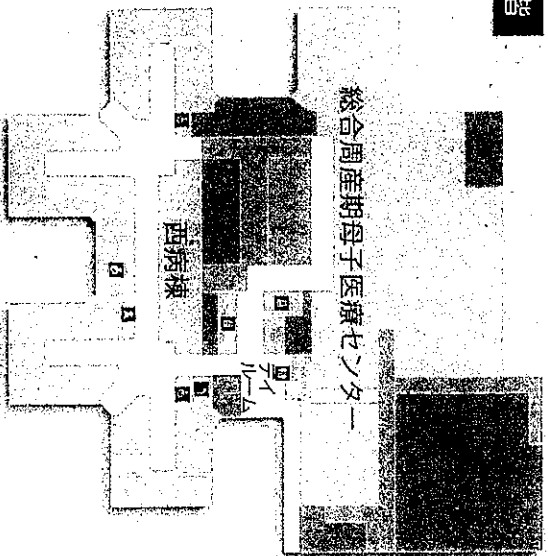
6階



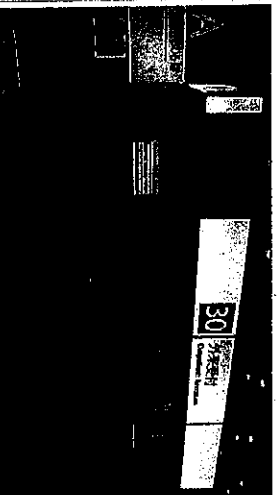
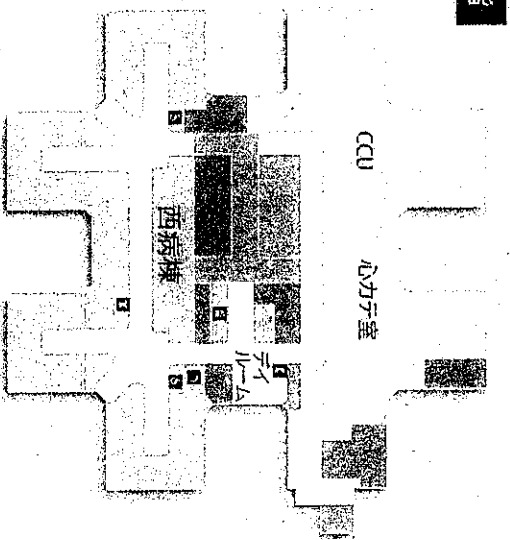
9～14階
病棟



5階



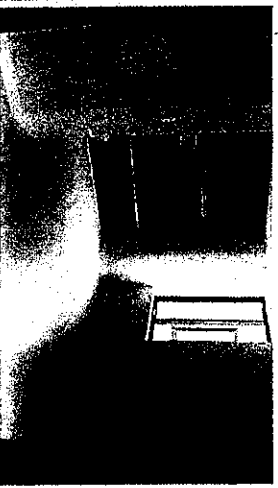
8階



外来受付



病棟・スタンプスデーション



病室